

熊本県・和水町

ジャガイモにおける遅霜対策共同試験

生産者：上原氏
住所：熊本県和水町
品種：ニシユタカ

使用資材
(ドローン散布)
プレミアム セル-酵母発酵物SP
セル-エタノールプロテクト
セル-高濃縮有機酸ファイト・Fe²⁺
セル-魚エキス600
セル-フルボ酸・Fe²⁺
セル-ファーマメントMg
セル-ファーマメントCa

撮影日:令和8年4月9日



セル区(遅霜による被害無し)

写真提供:生産者 上原氏

撮影日：令和8年4月9日



慣行区(遅霜による被害)

写真提供：生産者 上原氏

撮影日：令和8年4月19日



写真提供：生産者 上原氏

慣行区の遅霜被害株にセル-エタノールプロテクト・プレミアム セル-酵母発酵物SP等をドローン散布。**新葉の展開が早く、10日後には回復が見られた。**

収穫量調査

慣行区	セル区	比率
2.5t/10a	3.5t/10a	140%UP

生産者コメント

情報提供:生産者 上原氏

令和7年度は遅霜により5～6haが被害にあった。
令和8年度は遅霜が2回あったが、遅霜前の散布により**殆ど被害が無かった**。

被害にあった圃場も、セルストロングシリーズの散布により**約10日で回復**した。

生育も良好で、毎年殺菌剤を4回散布するが1回散布で問題無く、**農薬削減に繋がった**。

玉名・山鹿地区は令和8年度は小玉傾向であったが、**セル区は大玉傾向で品質も良かった**。よって**収穫量向上に繋がった**。